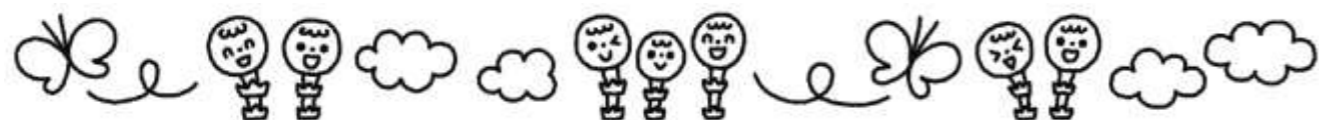


卒園が近づくとつれ、子どもたちの成長をお祝いしてくれているかのように、桜のつぼみが膨らみ始めました。小学校へ行くことを心待ちにしている子どもたちは、お兄さんお姉さんになる喜びをそれぞれに感じているようです。



卒園式に向け、練習が始まりました。一時間近くある練習の中で初めは集中出来ず背筋が曲がってしまう子が多かったですが練習を重ねるうちに、声を掛けなくても意識して集中し、背筋を伸ばすことが出来るようになり、真剣な表情も見られるようになりました。

合奏では、リズム楽器だけでなく、メロディ楽器にも挑戦しました。音階の場所をおぼえるのは難しいようでしたが、友だち同士で教え合ったり、分からない所は保育教諭に確認しながら何度も取り組みました。「ここはこうしたら叩きやすいで」「ここの指はこうしてみる？」など、同じ楽器の友だちと話し合う姿が印象的でした。給食の後も「ここ難しいから練習したい！」と意欲的に取り組む姿もありました。リズム楽器の子は、指揮を見ながら楽器を演奏するという二つのことを

ことを意識しなくてはいけないため、叩くリズムは分かっているにもかかわらず、繰り返し練習することで、自分中心にリズムを刻むのではなく、指揮やピアノに合わせて演奏することを意識出来るようになり、「揃った！かっこいい！」と喜ぶ姿もありました。明日の卒園式でも、自信を持って式に臨む姿、成長した姿を楽しみにしててください。



きりん組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。みんなと過ごしたこの1年間、いろんな経験をしてたくさん成長したみんなの姿を側で見守ることが出来て幸せでした。今年度はコロナウイルスの影響があり、行事にも制限があった一年でした。そのような状況の中でも一つ一つの行事に真剣に取り組んだり、笑顔に満ち溢れ楽しんで参加したりする姿を今でも思い出せます。小学校へ行ってもこども園で経験したことを活かして素敵なお兄さんお姉さんになってくれることを楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様には今日まで本当に温かく見守って頂きました。至らぬ点やご迷惑をおかけしたことなど多々あったかとは思いますが、子どもたちがこうして無事卒園を迎えることが出来たのは、ひとえに保護者の皆様のご協力があったこそだと感じております。本当にありがとうございました。

これから忙しくなるとは思いますが、またこども園にも遊びに来てください。元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。